

2026年度診療報酬改定で急性期病院の絞り込みが進む

～神奈川県内で急性期1から急性期Aに移行できる病院は6割程度？～

2026年2月19日

調査部 上席主任研究員 清水 徹

2月13日、中央社会保険医療協議会（中医協）において、2026年度診療報酬改定の詳細（個別改定項目）が決定した。このうち、今回新設された急性期病院一般入院基本料の概要をまとめるとともに、神奈川県内病院への影響を考察した。

救急搬送件数と手術件数が一定数以上の病院を高く評価する基本報酬を創設

急性期医療の基本報酬において、病院全体での救急搬送の受入件数や手術件数が一定水準以上であることなどを要件とする急性期病院一般入院基本料という報酬が創設された。従来の病棟単位での体制や診療実績を評価する仕組みに加え、病院単位での診療実績も評価に加えた点が大きな特徴である。

急性期Aは急性期医療の拠点病院、急性期Bは一般的な急性期を担う病院

本報酬は「急性期病院A一般入院基本料」（以下、「急性期A」、1,930点／日）と、「急性期病院B一般入院基本料」（以下、「急性期B」、1,643点／日）の2区分で構成される。急性期Aは、看護職員配置が7対1以上であることに加え、病院全体で救急搬送件数が年間2,000件以上かつ、全身麻酔手術件数が年間1,200件以上など、より高い水準の救急医療の実績が求められる（図表1）。また、急性期Aでは地域包括医療病棟や地域包括ケア病棟を併設することが認められず、急性期医療に特化する必要がある。一方、急性期Bは看護職員配置が10対1以上で、救急搬送の受入件数や手術件数の基準は急性期Aよりも緩く設定されている。

急性期Aは地域における急性期医療の拠点病院、急性期Bは一般的な急性期機能を担う病院という位置づけといえるだろう。病院を救急搬送の受入件数と手術の件数に基づき区別することで、地域の急性期医療の中核となる病院を明確にし、病院間の役割分担を進めることが狙いであると考えられる。

図表1 急性期病院一般入院基本料の主な施設基準

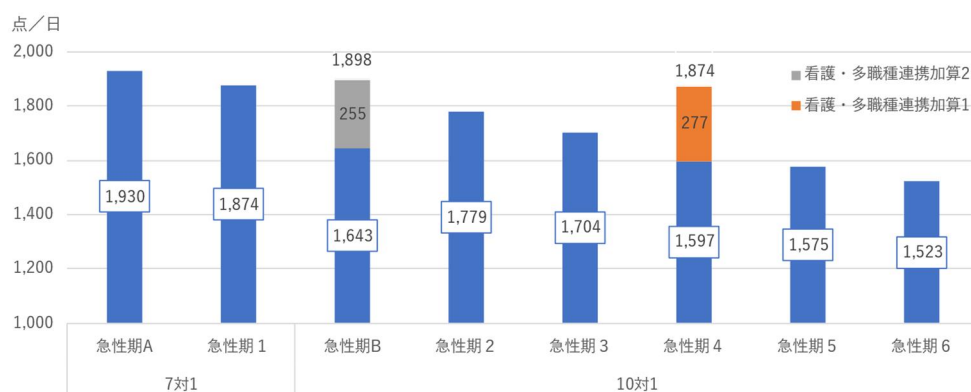
項目	急性期A	急性期B
役割	地域の急性期医療の拠点機能	一般的な急性期機能
点数（1日につき）	1,930点	1,643点
看護職員配置	7対1以上	10対1以上
常勤医師の配置	10対1以上	—
急性期医療に係る実績	救急搬送件数が年間2,000件以上かつ、全身麻酔手術件数が年間1,200件以上	①救急搬送件数が年間1,500件以上 または ②救急搬送件数が年間500件以上かつ、全身麻酔手術件数が年間500件以上 (※) 人口が少ない地域、離島は別基準
重症度、医療・看護必要度	必要度Ⅰの場合 割合①：28% 割合②：35% 必要度Ⅱの場合 割合①：27% 割合②：34%	
平均在院日数	16日以内	21日以内
在宅復帰率	8割以上	—
DPC	DPC病院である	
地域包括医療病棟の併設	×	×
地域包括ケア病棟の併設	×	○

出所：厚生労働省「個別改定項目について」（中央社会保険医療協議会2026年2月13日資料）を基に浜銀総研作成

点数は急性期A＞急性期1で、急性期Aへの移行を促す設定

2026年度改定後の新たな入院料の点数は急性期Aが1,930点、急性期一般入院料1（以下、「急性期1」）が1,874点、急性期Bが1,643点、急性期4が1,597点などとなっている（図表2）。救急搬送件数等の実績要件を満たす急性期1病棟を持つ病院については、より点数の高い急性期Aへ移行した方が有利となる。急性期1と急性期Bでは急性期1の方が点数が高い。ただ、2026年度改定では、看護職員や他の医療職種¹が協働して専門的な指導や診療の補助を行う体制を有している場合に算

図表2 急性期病院の入院料の比較



出所：厚生労働省「個別改定項目について」（中央社会保険医療協議会2026年2月13日資料）を基に浜銀総研作成

¹ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士または臨床検査技師

定できる「看護・多職種連携加算」が創設された。急性期B（1,643点）と看護・多職種連携加算2（255点、急性期Bのみが算定可能）の点数を足し合わせると1,898点となり、急性期1の点数を上回る。急性期Aの救急搬送件数等の実績要件は満たせないが、急性期Bの要件は満たせる急性期1病院においては、急性期Bに移行するという選択肢もあるといえる。

急性期Aに移行できるのは急性期1病院の6割程度か

それでは、急性期1届出病院のうち、急性期Aに移行できる病院はどれだけあるのだろうか。施設基準の届出状況（2025年10月）と「令和6年度病床機能報告」（2023年度の実績）のデータを用いて確認したところ、2025年10月時点で急性期1の届出をしていた神奈川県内の69病院²のうち、急性期Aの要件を満たしている病院は41病院³（約6割）で、28病院（約4割）は急性期Aの要件を満たしていなかった。

病床規模別にみると、病床規模が大きいほど多く急性期Aの要件を満たす病院の割合が多くなっていることがわかる。200床台以下では要件を満たす病院は一部にとどまり、300床台以上からは要件を満たす病院の方が多くなる。「全身麻酔手術件数が年間1,200件以上」などの実績件数の基準があるため、規模が大きい病院の方が急性期Aへの移行がしやすいといえる。

図表3 許可病床規模別の急性期Aの要件を満たす病院の割合

	満たす		満たさない		合計	
	(施設)	(割合)	(施設)	(割合)	(施設)	(割合)
100床未満	0	0%	5	100%	5	100%
100床台	1	20%	4	80%	5	100%
200床台	2	14%	12	86%	14	100%
300床台	10	67%	5	33%	15	100%
400床台	12	86%	2	14%	14	100%
500床以上	16	100%	0	0%	16	100%
総計	41	59%	28	41%	69	100%

注：急性期Aの要件を満たす＝急性期医療に係る実績（救急搬送、手術）及び「DPC病院である」の基準を満たす病院の割合

出所：関東信越厚生局「保険医療機関・保険薬局の施設基準の届出状況及び厚生労働省「令和6年度病床機能報告」より浜銀総研作成

診療実績は変動するため実際の届出病院数は変動する可能性があるが、いずれにせよ急性期A病院の数は現行の急性期1病院の数よりも大きく減少することになる。

急性期1病院においては、「急性期Aへの移行」、「急性期B＋看護・多職種連携加算への移行」、「急性期1の継続」などの選択肢の中から、自院にあった役割を選択していくことが必要になる。

また、他の病院においても、急性期Aや急性期Bへの移行が進むことに伴い、地域において期待

² 急性期1届出病院数は70だが、このうち移転があったため実績データがない1病院を除いている。

³ うち4病院は地域包括ケア病棟を有しているが、「当面の間」は急性期Aの要件を満たしているとみなす経過措置があるため、要件を満たすものとして扱った。

される役割が変化する可能性がある。例えば、ある病院が急性期Aに移行し「治す医療」への特化を選択した場合、その周辺の病院においては、「治し支える医療」（比較的症状が軽度な高齢患者や急性期後の患者を受け入れてリハビリや在宅復帰支援を行う）を提供する役割が期待されることになる。2026年度診療報酬改定の施行を見据え、各病院は自院の役割を再定義することが必要になる。

執筆者



清水 徹

調査部 上席主任研究員

医療・介護、調剤薬局等を担当

【本レポートについてのお問い合わせ先】

電話番号：045-225-2375

メールアドレス：chyosabook@yokohama-ri.co.jp

執筆者の関連レポート

○HRI研究員コラム「3%超のプラス改定で医療機関経営は改善するのか？」

https://www.yokohama-ri.co.jp/html/report/pdf/pdf.html?pdf=column251225_shimizu

○HRIテーマレポート「2050年までの神奈川県内の入院医療需要の見通し」

https://www.yokohama-ri.co.jp/html/report/pdf/pdf.html?pdf=report250509_shimizu

○HRI研究員コラム「神奈川県内の有料老人ホームはどれだけ増えているのか？」

https://www.yokohama-ri.co.jp/html/report/pdf/pdf.html?pdf=column250731_shimizu

＼ 調査レポートの更新情報をお届けしています ／

浜銀総合研究所では、景気動向や産業動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。